

## 第4回臨床宗教師養成講座 報告書



2024年の臨床宗教師養成講座は、東北大学死生学・実践宗教分野専攻と共催という形で行われ、真言宗のほか、天理教、日蓮宗の受講生が集まり、計8名でプログラムに取り組みました。

### 目次

ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・p.1  
第4回臨床宗教師養成講座修了によせて  
・アドバイザー報告  
谷山洋三・・・・・・・・p.2  
・種智院大学臨床密教センター  
「第4回臨床宗教師養成講座」に寄せて  
打本弘祐・・・・・・・・p.3  
第4回臨床宗教師養成講座実施報告  
・・・・・・・・p.4-8  
受講生の感想・・・・・・・・p.8-12  
寄附のお願い・・・・・・・・p.12

### 「ごあいさつ」

2016年から始まった当センターの臨床宗教師養成講座ですが、この度無事4回目を修了することができました。2018年までは毎年講座を実施していましたが、2019年は大学の学事日程等の関係で実施できず、その後世界的な新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、今回は実に5年ぶりの講座実施となりました。感染症に関わる行動規制が緩和されたとはいえ感染症が完全には収束してはいない中、受講生の現場実習を受け入れてくださった医療機関の皆様には心より御礼申し上げます。また今回も研修会場をお貸しくださいました大本山石山寺の鷲尾座主様、共催という形で講座運営にご協力頂きました東北大学死生学・実践宗教分野専攻様、そして全国からお手伝いに駆けつけてくれた臨床宗教師の仲間たちに心より感謝申し上げます。皆様のご協力がなければ5年ぶりの再開は非常に難しかったと思っています。

それにしても今回の新型コロナウイルス感染症の流行は、色々なことを考えさせられる機会となりました。患者の急増で医療機関が逼迫し医療に従事する皆様が大変なご苦勞をされ、また感染した患者の皆様も大変な苦しみを感じられていた時、臨床宗教師は社会に行動規制がかかる中で活動をすることができないという現実と直面しました。報道ではコロナ禍で苦しむ方々のことが日々伝えられていました。しかし臨床宗教師は病院に入ることも、病院外でも直接会ってお話を伺うということも殆どできませんでした。只々、無力であることを思い知らされました。臨床宗教師はこんな時何ができるのか？そもそも臨床宗教師は必要とされているのか？今あらためて「臨床宗教師とは」ということをもう一度考えなければならぬ時期が来ていると強く感じています。

相変わらず世界各地で異常な自然災害、不毛な紛争が続いています。そのような中で臨床宗教師が人々の悲嘆に本当に寄り添うためにはどうすればよいのか？考えてみれば、あらゆる宗教は人類の歴史において常に人々の悲嘆に寄り添い、幾度も共に苦難を乗り越えてきたはずです。今改めて先哲の教えに耳を傾けるとともに、宗教者として揺るぎない信念を持って人々の悲嘆に寄り添い、すべての人が救われるまであらゆる努力を続ける臨床宗教師を養成できるよう精進してゆきたいと思えます。今後とも当センターの活動にご理解・ご協力くださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。

種智院大学 臨床密教センター センター長 松本 峰哲

## 第4回臨床宗教師養成講座 修了によせて

### アドバイザー報告



東北大学大学院文学研究科 教授

(一社)日本臨床宗教師会 事務局長・登録臨床宗教師研修指導者・認定臨床宗教師

日本スピリチュアルケア学会 指導スピリチュアルケア師

谷山 洋三

2023年秋に開催された、種智院大学臨床密教センター主催「第4回臨床宗教師養成講座」に共催ならびに「臨床宗教師の倫理と理念」「スピリチュアルケア」「宗教的ケア」「セルフケア」等の講義・グループワークを担当させていただいた。コロナ禍を挟んで5年ぶりの開催だったが、以前と変わらない独特の雰囲気を感じ出していた。

種智院大学の臨床宗教師養成講座は、2012年～2017年まで東北大学が開催した方式をベースにしており、合宿形式により休憩時間を含めて諸宗教間の対話を楽しむことができる。研修開始時点では、お互いに初対面であり、また研修内容においても通常の宗教者の研修では見聞きしないようなことにも触れられるため、受講者は戸惑うことが多い。しかし、徐々にスピリチュアルケア専門職である臨床宗教師の理念を理解し始め、この独特の雰囲気を楽しむ受講者が増えていく。研修終了までに受講者全員が馴染むことができれば、研修は成功だったと言えよう。

さて「独特の雰囲気」とは何であろうか。この研修は、身体的な修練を含まない、精神的な（かつスピリチュアルな）修練である。自分自身に向き合うことが必須とされ、刹那に湧き起こる感情を開示し合い、自己の課題を開示し合い、グループダイナミズムを伴う形で共有することで、一種の（軽めの）変性意識状態を体

験する、という言い方もできよう。ケアの世界は、他者への敬意と尊重を基本としているので、お互いにケアをし合うような関係性になる。このように、グループワークの中でスピリチュアルケアを体験学習するというプログラムである。また副産物であるが、結果的に、受講者同士の心理的距離が縮まり、30代から60代の受講者たちは、学友のような関係性を体験する。

今回の受講者について個々の言及はしないが、それぞれの課題に応じて、戸惑い→発見→探求→覚醒→成長、といった流れで体験学習をしたものと思われる。今後、「認定臨床宗教師」資格を得て、それぞれの臨床で活躍されることを念じてやまない。



種智院大学臨床密教センター  
「第4回臨床宗教師養成講座」に寄せて



龍谷大学農学部 准教授

(一社)日本臨床宗教師会 登録臨床宗教師研修  
指導者・認定臨床宗教師

日本スピリチュアルケア学会 指導スピリチュアル  
ケア師

打本 弘祐

石山寺を会場にした合宿形式による今期の臨床宗教師養成講座に、宗教間対話（実習・講義）と会話記録検討会のスーパーヴァイザーとしてご縁を頂きました。現在の私が勤務する瀬田学舎は、石山寺前を流れる瀬田川東岸の丘陵地帯にあり、JR石山駅から直通バスも走っています。近隣かつ至便さがかわられて第2回全体実習（10月26日）の会場として、皆さんに早朝から宗教間対話の実習と講義、午後は会話記録検討会と丸一日を本学で過ごして頂きました。

特に宗教間対話（実習）では、西洋風建築の仏堂（樹心館<sup>じゅしんかん</sup>）で行われる日常礼拝「朝の勤行」を経験して頂きました。あの日は、宗教的衣裳を纏った真言宗各派・日蓮宗・天理教の研修生の方々の佇まいによって堂内の雰囲気が変わりました。私だけでなく、同席した本学職員や学生にとっても、研修生の皆さんの姿が心に残る時間となりました。研修生の方々の内面から薫る宗教性は、担当した会話記録検討のグループワークの中でも、また合宿形式ならではの夜の懇親会においても発せられていました。最も印象深かったのは、石山寺で過ごした11月29日の月夜の晩。鷲尾龍華さん（石山寺座主）も参加された最後の夜に、集った参加者がお互いの信頼を土台に「自分にとっての信仰とは何か」を語り合う姿でした。かつて、私が参加していた東北大学の臨

床宗教師研修（第4～6期）で感じた熱量を彷彿させる夜でした（そういえば、この懇親会のために来親会のために来た方もいたような…）。

合宿形式の良さを継承する本講座が、新型コロナによる休止を経て再始動した今回から東北大学との共催となり、他宗派他宗教の研修生を受け入れました。それによって多様な宗教者の交わりが生まれ、より「切磋琢磨」できる魅力を兼ね備えました。そのような記念すべき回から、瀬田学舎と私を用いて頂けたことに改めて感謝申し上げます。最後に、センター長の松本峰哲先生、本当にお疲れさまでした。今期の研修生の皆さん、ご活躍に期待しています。



## 第4回臨床宗教師養成講座実施報告

臨床密教センターでは令和5年9月から11月にかけて第4回臨床宗教師養成講座を実施しました。カリキュラムについては、これまでどおり東北大学でかつて実施されていた3ヶ月完結の臨床宗教師研修カリキュラムに準じたものとし、受講生に関しては真言宗僧侶を主な対象にしながらも、当センターの理念に賛同していただける他宗教・他宗派の方にも受講して頂きました。臨床密教センターのカリキュラムは臨床宗教師としてのスキルと身につけるだけでなく、特に宗教者としての自分をしっかりと見つめることをに重点をおいています。

### ・・・研修データ・・・

#### ☆期間

全体会1 2023年9月26日(火)～28日(木)

全体会2 2023年10月26日(木)～27日(金)

全体会3 2023年11月29日(水)～30日(木)

#### ☆全体会会場

大本山 石山寺(滋賀県大津市)

#### ☆実習先

<ささえ愛よろずクリニック>(新潟県新潟市)

医療法人社団ささえ愛よろずが運営する内科・心療内科・精神科クリニックを中心に、高齢者住宅、デイサービス、ショートステイ、訪問看護、訪問介護、在宅終末期ケアを行う。臨床宗教師が活動している。

<はもれびクリニック>(千葉県鎌ケ谷市)

在宅支援診療所で訪問診療、訪問看護を行い、同じ医療法人社団豊寿会が運営するオガールむつみはサービス付き高齢者住宅。社会福祉法人高嶺福祉会と協力関係にあり、同法人の運営している特別養護老人ホームさつまの里、初富の里ではデイサービス、ショートステイも行う。臨床宗教師が活動している。

<小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック>

(岐阜県岐阜市)

医療法人聖徳会が運営するクリニックと訪問看護ステーション・介護支援サービスによる在宅緩和ケアを



▲第2回全体会は龍谷大学瀬田校舎の樹心館で打本先生御導師のもと、浄土真宗の日常儀礼よりスタートしました。

行う。緩和ケアも実施。独居の看取りにも傾注していて、ボランティアも多数登録している。

<沼口医院>(岐阜県大垣市)

医療法人徳養会が運営するクリニックと、訪問看護ステーション・アマターユスにより、在宅緩和ケアを行う。臨床宗教師が常駐している。

<西栄寺介護事業 お寺の介護 はいにこぼん>

(大阪府大阪市)

「宗教法人としての訪問介護事業」を行う。サービス管理者の吉田敬一師は、第1回臨床宗教師研修修了者。

<福山市民病院緩和ケア病棟>(広島県福山市)

福山市が運営する市民病院内にある院内病棟型の緩和ケア病棟。臨床宗教師がボランティアとして活動している。

<メリイホスピタル>(広島県広島市)

医療法人社団八千代会が運営する病院。緩和ケア病棟を設置しており、同建物の上階にあるサービス付高齢者向け住宅「メリーデイズ」と連携している。臨床宗教師がボランティアで活動している。

## ☆研修修了者

岩倉健太	北海道	天理教
植田登	福井県	天理教
清水久美子	東京都	真言宗醍醐派
船岡芳英	新潟県	真言宗智山派
菊岡妙光	岡山県	日蓮宗
田中俊光	千葉県	真言宗豊山派
加隈隆照	和歌山県	真言宗大覚寺派
渡邊慧海	京都府	真言宗醍醐派

## ☆研修スタッフ

### [SV]

- ・松本峰哲（真言宗御室派）  
種智院大学教授・臨床密教センター長、（一社）日本臨床宗教師会 理事、登録臨床宗教師研修指導者・認定臨床宗教師、宗教文化士
- ・谷山洋三（浄土真宗大谷派）  
東北大学実践宗教学寄付講座准教授、（一社）日本臨床宗教師会 事務局長・登録臨床宗教師研修指導者・認定臨床宗教師、日本スピリチュアルケア学会指導スピリチュアルケア師
- ・打本弘祐（浄土真宗本願寺派）  
龍谷大学農学部准教授、（一社）日本臨床宗教師会登録臨床宗教師研修指導者・認定臨床宗教師、日本スピリチュアルケア学会指導スピリチュアルケア師、滋賀県死生懇話会委員

### [講師]

- ・近棟健二  
種智院大学教授、社会福祉士
- ・平野博  
あそかビハーラ・非常勤医師
- ・福井未来  
種智院大学講師、臨床心理士、社会福祉士、公認心理師
- ・吉田敬一（浄土真宗）  
西栄寺介護福祉事業部・部長、認定臨床宗教師
- ・鷲尾龍華（東寺真言宗）  
大本山石山寺・座主、認定臨床宗教師

### [スタッフ]

- ・新田忍澄（高野山真言宗）  
認定臨床宗教師
- ・西郊良俊（天台宗）  
認定臨床宗教師
- ・坂野大徹（浄土宗）  
認定臨床宗教師、中部臨床宗教師会・会長
- ・楠直樹（浄土真宗大谷派）  
認定臨床宗教師

### [オブザーバ]

- ・Nathan Michon（真言宗）

## ☆プログラム内容

### [講義科目]

「臨床宗教師の倫理・理念」（谷山洋三）  
臨床宗教師を目指すにあたって、その成立や現在に至るまでの経緯をたどり、臨床宗教師の理念を学んだ。また、臨床宗教師がケア対象者に対して守るべき倫理「臨床宗教師倫理綱領」の内容を確認し、公共空間で活動するために宗教者が臨床宗教師として活動する際に必要なことについて確認した。

「公共性の確保」（谷山洋三）  
臨床宗教師の活動の場は公共空間である。そのことを踏まえ、社会常識を守ること、各自が公共性を身に付けることの重要性を確認し、東日本大震災の際、公共空間において宗教者がどのような活動をしてきたか実例を挙げて考察した。

「宗教間対話」（鷲尾龍華）  
「世界宗教者平和会議（WCRP）」での講師の実際の活動に基づいて、異なった宗教間でどのように対話していくか、そして他宗教に向かい合う為の心構えについて考えた。

「民間信仰論」（松本峰哲）  
現代日本において宗教の教義と一般に信仰されていることに乖離があることを確認し、それを民間信仰として尊重しつつも自身の信仰と整合性をもたせる重要性を学んだ。

「臨床密教学」（松本峰哲）  
密教の教義を宗祖弘法大師の著作などをもとに再確認し、真言宗僧侶が現代において密教をどのように生かすことができるか考えた。さらに臨床宗教師それぞれが自身の信仰をしっかりと見つめながら活動することの重要性を学んだ。

「宗教学」（打本弘祐）  
臨床宗教師の一つのモデルであるチャプレンの歴史を学ぶとともに、講師自身の体験をもとにした臨床の現場に於ける他宗教との宗教間対話・協力の重要性について学んだ。

「宗教と倫理」（松本峰哲）  
それぞれの宗教が持っている「真理」と社会の「倫理」は時として矛盾する場合があるということを学び、臨床宗教師が自身の信仰を保持しつつ臨床宗教師の「倫理」を守ることの重要性について考えた。



### 「宗教と倫理」(松本峰哲)

それぞれの宗教が持っている「真理」と社会の「倫理」は時として矛盾する場合があるということを学び、臨床宗教師が自身の信仰を保持しつつ臨床宗教師の「倫理」を守ることの重要性について考えた。

### 「介護福祉」(吉田敬一)

大阪の西栄寺で介護事業をする吉田先生自身の経験、実際に介護現場で知っておかなければならない知識、臨床宗教師の在り方などについてお話しいただいた。

### 「グリーフケア」(谷山洋三)

喪失と悲嘆(グリーフ)について学び、それを癒すためのケアとして宗教者の「死者と生者をつなぐ」機能(葬儀や仏壇)が役立つことを理解した。また、悲嘆に伴う行動的・生理的反応や「あいまいな喪失」、治療のためのガイドラインについても学んだ。

### 「スピリチュアルケア」(谷山洋三)

「痛み」の中でも「病気」とは異なる「スピリチュアルペイン」があることを踏まえ、それを和らげるためのスピリチュアルケアの基本姿勢を学んだ。

### 「実習先説明」(松本峰哲)

実習先としてご協力いただく施設についての事前学習。また実習先の医療機関で活動する際に注意すべきことを確認した。

### 「宗教的ケア」(谷山洋三)

スピリチュアルケアとは異なる宗教的ケアがどういったものであるかを学び、宗教者としてのケア、宗教的資源の活用について理解を深めた。

### 「緩和ケア」(平野博先生)

緩和ケアとは何かについての理解を深め、講師の実体験に基づき、末期がん患者に接する緩和ケアの現場の話を通じて、ケア対象者に対してできることについて考えた。

### 「資格申請について」(松本峰哲)

研修修了後の各地域の臨床宗教師会への入会方法や、認定臨床宗教師の資格申請に必要な要件・手続きについて説明した。

### 【講義・演習科目】

#### 「社会福祉」(近棟健二)

社会福祉とは何か、また高齢化に伴う介護福祉の現状を学んだ。実際に臨床宗教師が現場で活動する際深くかかわる介護に関する保険やサービス、今後予想される状況について理解を深めた。

#### 「臨床心理」(福井未来)

ケア対象者に接する際の心構えについて学んだ。さらにそれをもとに受講者同士がペアになって実際にケア対象者の話を聞くロールプレイを行った。

### 【演習科目】

#### 「傾聴」(谷山洋三)

2人1組になり、人の話に耳を傾ける傾聴を実際に行ってみて、フィードバックを行う。また、傾聴する際の姿勢や心構えについても学んだ。

#### 「会話記録の作成法」(谷山洋三)

ケア対象者との会話を振り返る会話記録の作成について、書式や注意事項について解説した。

#### 「ロールプレイ」(谷山洋三)

2人1組になり、配布されたプリントに記載してある状況の中から一つ選択し、話し手と聞き手の役を演じる。そして、実際に話してみても話し手はどのように感じたか、聞き手はどういった感情が起こったかなどを振り返った。

#### 「宗教間対話実習振り返り」(松本峰哲)

第2回全体会初日の龍谷大学瀬田校舎・流響館で行われた「宗教間対話実習」について受講者それぞれが感じたことを発表し、宗教間対話の重要性について想いを共有した。

#### 「実習振り返り」(松本峰哲)

第2回・第3回全体会の初めに、前回の実習先での体験・気づきについて発表し、研修生同志で共有した。

#### 「研修振り返り」(松本峰哲)

それぞれの全体会の最後に研修全体を振り返り、感じたことを共有した。



「会話記録」(打本弘祐・松本峰哲)

実習先での会話記録を、臨床宗教師、ケア対象者、ナレーション役を決めて読む。会話記録作成者は必ず自分がかかわったケア対象者のセリフを読み、どのように感じたかを共有した。

**[実習]**

「現場実習」(各地)

医療機関にご協力をいただき、受講生各自が指定された医療機関で傾聴の実習を行った。(合計4日間)

「日常儀礼」

一日の終わりに各受講生が導師となって真言宗、日蓮宗、天理教の儀礼を研修参加者全員で行った。また朝は大本山石山寺の本堂にて朝勤行に参加した。

☆全体会日程

**[全体会1]**

9/26(火)

9:45 石山寺集合  
10:00 - 10:30 オリエンテーション  
10:30 - 10:45 日常儀礼  
10:45 - 12:15 講義「臨床宗教師の倫理・理念」  
12:15 - 13:15 昼食・休憩  
13:15 - 14:45 講義「緩和ケア」  
14:55 - 15:55 講義「スピリチュアルケア」  
15:55 - 18:55 入浴・夕食・休憩  
18:55 - 20:25 講義「宗教間対話」  
20:25 - 20:40 日常儀礼(真言宗)  
20:40 - 就寝

9/27(水)

7:00 - 7:30 朝食・休憩  
7:30 - 8:00 日常儀礼(石山寺本堂)  
8:00 - 9:30 演習「傾聴」  
9:40 - 11:40 講義・演習「社会福祉」  
11:40 - 12:40 昼食・休憩  
12:40 - 14:10 講義「公共性の確保」  
14:20 - 15:20 演習「会話記録の作成法」  
15:30 - 16:30 講義「宗教的ケア」  
16:30 - 19:30 入浴・夕食・休憩  
19:30 - 20:30 演習「実習先説明」  
20:30 - 20:45 日常儀礼(日蓮宗)  
20:45 - 就寝

9/28(木)

7:00 - 7:30 朝食・休憩  
7:30 - 8:00 日常儀礼(石山寺本堂)  
8:00 - 11:00 演習「ロールプレイ」  
11:00 - 12:30 昼食・清掃・休憩  
12:30 - 14:00 講義「グリーンケア」  
14:10 - 15:40 研修振り返り  
15:40 - 15:55 日常儀礼(真言宗)  
解散

**[全体会2]**

10/26(木)

8:40 龍谷大学瀬田キャンパス集合  
8:55 - 9:25 実習「宗教間対話」  
9:25 - 10:55 講義「宗教学」  
10:55 - 12:25 演習「実習振り返り」  
12:25 - 13:25 昼食・休憩  
13:25 - 16:55 演習「会話記録」  
16:55 - 19:55 入浴・夕食・休憩  
(石山寺へ移動)  
19:55 - 20:55 演習「対話実習振り返り」  
20:55 - 20:10 日常儀礼(天理教)  
21:10 - 就寝

10/27(金)

7:00 - 7:30 朝食  
7:30 - 8:00 日常儀礼(石山寺本堂)  
8:00 - 9:30 講義「宗教と倫理」  
9:40 - 11:40 講義・演習「臨床心理」  
11:40 - 13:10 昼食・清掃・休憩  
13:10 - 14:40 演習「研修振り返り」  
14:40 - 14:55 日常儀礼(天理教)  
解散



## [全体会3]

11/29(木)

9:45 石山寺集合  
10:00 - 10:15 日常儀礼 (真言宗)  
10:15 - 11:45 演習「実習振り返り」  
11:45 - 12:45 昼食・休憩  
12:45 - 16:15 演習「会話記録」  
16:15 - 18:15 入浴・休憩  
18:15 - 19:45 講義「介護福祉」  
19:55 - 20:25 講義「資格申請について」  
20:25 - 20:40 日常儀礼 (真言宗)  
20:40 - 22:00 懇親会

11/30(金)

7:00 - 7:30 朝食  
7:30 - 8:00 日常儀礼 (石山寺本堂)  
8:00 - 9:00 特別講義「セルフケア」  
9:10 - 10:10 講義「民間信仰論」  
10:20 - 11:20 講義「臨床密教学」  
11:20 - 12:50 昼食・清掃・休憩  
12:50 - 14:20 演習「研修振り返り」  
14:30 - 15:00 修了式  
15:00 - 15:15 日常儀礼 (真言宗)  
解散

## 受講生の感想

### (第4回臨床宗教師養成講座)

今回の研修では8名の宗教者が臨床宗教師の指定カリキュラムを修了しました。

### 岩倉健太さん (天理教)

コロナ禍ということもあって開かれなかった種智院大学の臨床宗教師養成講座が、今年には行われることを知り、思い切って挑戦した講座でした。

天理教を信仰する立場から他宗教の方と一緒に各分野の先生の講義を受けて、普段見落としがちで宗教者の公共性の確保や、臨床の今まで知りえなかったことが学べたこと。また会場は石山寺と、実習先が西栄寺の訪問介護福祉事業で学ばせて頂いたことは、どれも公共性の場面と現場の地域性を考える時間となりました。

講義のロールプレイやグループワークでは、悲嘆や死について抱え演じる作業は辛くて気持ちのいいものではありませんでしたが、感情移入から涙が流れる相手の心の動きを感じて、自分のフラッシュバックする場面や行き場のない自分の感情の動きを知るとは、同時に嫌な自分も分かりましたし、どんな色がついているかも自分の傾向として知っておくことは、セルフケアにも繋がるように思えました。

実習先での介護訪問では、パーソナルスペースで傾聴する難しさに直面し、似たような人生は必ずないことと、どんな方にも支えとする宗教的発露を見つけて多職種連携で支えるアドバイスは勉強になりました。

このような連続性の中に臨床宗教師の能力と向上心が保たれることも忘れることなくフォローアップ研修に望んで臨床宗教師として活動を勧めたいと思います。

最後に、養成講座の諸先生方と実習先の西栄寺様。また裏方でお世話下さいました先輩方、会場の石山寺様、同期の皆様にご礼申し上げます。有難うございました。



## 植田登さん（天理教）

この度は種智院大学臨床宗教師養成講座を受講させて頂きありがとうございました。

また、種智院大学の松本先生をはじめ、この養成講座全ての関係者各位に心より重ねて御礼申し上げます。

私は臨床宗教師養成講座に声をかけて頂き、受講させて頂くことになりましたが、臨床宗教師という事をあまり理解せず、訳も分からないままに養成講座を受講させて頂いたことは、申し訳ない気持ちと、今日の日を迎えさせて頂いていることは何かお導きがあって事だと感じさせて頂いております。

中でも忘れられない言葉は、全体会初日一番最初に松本先生より「皆さん覚悟を決めて下さい」という言葉で、そのときは「何の覚悟？」と思っておりましたが、講義、実習と重ねるごとにそういう事だったのかと痛感させて頂きました。

臨床宗教師の活動というのは並大抵な事ではありませんが、今回の養成講座で生育歴を振り返り、自分と真剣に向き合えた時間は、これからの人生において貴重な時間を与えて頂いたと思っております。そして、その時間を他宗教の方と共に同じ目的に向かい、お互いの教えを理解尊重し助け合いながら過ごした日々は、これからの信仰生活においても貴重な時間を過ごさせて頂きました。

これからも一宗教者として、改めて自分に何ができるのかを考え通らせて頂きたいと思っております。ありがとうございました。

## 清水久美子さん（真言宗醍醐派）

この度、第四回臨床宗教師養成講座受講の機会を頂きましたこと、誠に有り難く感謝申し上げます。私は当初、過去の辛い経験から、本講座の受講に不安を感じていました。

自分なりに覚悟を決めて参加させて頂きましたが、ロープレ授業が始まると、やはり当時のネガティブな感情が激しくフラッシュバックし、大混乱に陥ってしまいました。

初回合宿終了後、実習に向けて様々思考・内観を重ねる中、試練を乗り越えて来たつもりが、実は心の奥深くにネガティブな感情を黙殺していた自分に気付く事が出来ました。

大きな困難に直面した時、人は今日を生きるために、癒やされない悲しみに蓋をせざるを得ないのかも知れません。

今回の受講を通じ気付かせて頂いた『魂の悲しみ』。その様な不顕化された深い想いも含め、丸ごと受け止められる宗教者でありたいと、想いを新たに致しました。

今後ともご先生方、諸先輩方、同期の皆様のお力もお借りしつつ、目標に向けて鋭意精進を重ねて参りたいと思っております。

ありがとうございました。



## 船岡芳英さん（真言宗智山派）

研修を終えて、今感じているのは、やり切ったという充実感とそれに伴う虚無感です。まだ、実際に臨床宗教師になった訳ではありませんので、充実感や虚無感に浸っている場合ではないのかもしれませんが、それだけこの講座が満足できるものだった証拠だと思います。

「同じ釜の飯を食べた仲間の絆は強い」とよくいわれますが、この講座でも7人の仲間と一緒に泊まり込みでしたので、この絆は特別だと思います。

また、この講座の一番のテーマが「自分を見つめ直す」ということだったのではないかと思いますので、このことに関しては、むしろ辛いと感じた場面の方が多かったように思います。しかし、このような場面もみんなで乗り切ったので、さらに絆が深まったように感じています。

これから、実際に臨床宗教師として、活動した時には、理想とはかけ離れた困難な場面に遭遇することもあるかもしれませんが、独りよがりになるのではなく、この良き仲間と相談しながら、乗り切っていきたいと考えています。



## 菊岡妙光さん（日蓮宗）

日蓮宗門内の臨床宗教師の方から種智院大学で臨床宗教師養成講座が開講されることを教えていただき、最初は他宗系の大学の講座に他宗の私がこのご受講させてもらっても大丈夫なのか、という疑問と恐れ多い気分だった。しかし、勉強させていただきたいという気持ちが勝り、書類を提出し受講許可をいただいたときは嬉しさと安堵でいっぱいになった。

第1回全体会の初日、メールをやり取りさせていただいている松本先生はどのような先生だろうか、他宗寺院での合宿はどのような雰囲気なのだろうか、受講生は真言宗の方ばかりだが他宗の私は受け入れてもらえるのだろうか、と胸をバクバクさせていた。しかし、松本先生の柔らかく穏やかなお人柄、温かい同期の皆様、美しく何不自由ない施設の中で最後まで安心感に包まれて受講させていただけたことを心より感謝している。

臨床宗教師養成講座を受講する前、檀信徒様との関わりだけでなく一般の方と接する時はお相手の方が不愉快な思いをされないようにとか、穏やかな気持ちでいていただけるようにと心掛けて接していた。しかし、講座を受講し先生方のご講義を拝聴してからは知り合いの方とのたわいもない会話の時にもお相手の心の状態に寄り添おうと心がけている自分を発見することができ、驚いている。この講座で学ばせていただいたことを生かし、自分がさせていただけるところを見つけ一人でも多くの人のお役にたてるように生きていきたいと思う。



## 田中俊光さん（真言宗豊山派）

私は数年前から臨床宗教師の活動に興味があり、大学時代の友人に紹介されて、種智院大学、臨床宗教師養成講座を受講しました。コロナ禍ということもあって、ここ数年は開催されていなかったのですが、今年は開催すると教えていただき早速申し込みをし、無事に修了することができました。

当初の私はどんなことを学べるのだろうかとかドキドキしながら、数年ぶりに関西の地に足を運び、滋賀にある石山寺へと向かいました。

いざ、研修がはじってみると、たくさんの情報量が頭に飛び込んできて、少し戸惑い、心が苦しいと感じることもありました。特に苦しかったのは「自分を見つめなおす」という事で、「今まで私は何をしてきたのだろうか？」と思う事が多々あり研修が終わった今でも昔の事を色々と思い出して、少し息苦しさを感じる時もあります。なので私がこの研修で一番学んだと思うことは、「自分を見つめなおし、自分の気持ちを知る」という事です。私は自分を見つめなおしているうちに、自分に何が足りないのか、臨床宗教師の事以外にも課題などがみえてきたと思います。なので私の人生においてとても貴重な経験をつむことができました。

今回の研修において私は一番得られて良かった事がありました。それは同期という仲間が存在です。同期の一人に「はじめて同期ができた」と嬉しそうに言っていたときに私はとても嬉しい気持ちになり、多宗派や他宗教の宗教や宗派を超えた仲間の存在は私にとって大きな宝となると感じ、それは他の宗教や宗派を知る良い切欠になりました。

私はまだ臨床宗教師としてのスタートラインに立ったばかりです。これから臨床宗教師として、今回研修で学んだ「自分を見つめなおし、自分の気持ちを知る」、そして今回一緒に勉強した仲間を大事にこれからの臨床宗教師の活動に活かしたいと思います。

最後になりましたが、松本先生、谷山先生をはじめ御講義いただきました諸先生方、研修でアドバイスいただきました諸先輩方、実習でお世話になりました、クリニックの先生並びに職員の皆様、場所をお貸しいただきました、石山寺の鷲尾座主、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いたします。

## 加隈隆照さん（真言宗大覚寺派）

この度の臨床宗教師養成講座を受けるにあたりまして、これはどういうものか？

果たしてこの講座についていけるのだろうかという不安からの始まりでした。

最初にいろんな宗教、宗派があり、自分がいかに小さい人間であるのかということ、そして世の中にはこんなにたくさんの宗教、人種が有るんだということを考えたことが有りませんでした。

まずは龍谷大の打本先生の浄土真宗からの講義、真言宗としての松本先生の講義、それから東北大学の谷山先生の講義など、宗教的考えとは宗教家としての考えでは無く一人の人間としての判断、知識と教養、経験をいかして、患者さんと言うよりも一人の人間として相対して向き合い、会話をしてその人の気持ちを引き出してその精神の安定や回顧録に等しく、人生の先輩としての助言、アドバイスのようにも聞こえて来ました。

病気もいろいろ有りますが、研修に行かせていただいた岐阜の小笠原先生やスタッフ一同の皆様にお世話になり、在宅介護支援の素晴らしさを体験させていただきました。

在宅緩和ケアの10人に訪問させて頂きましたが、いずれの皆様もお元気で体調も顔色も良くとても終末医療を受けているとは思えませんでした。

介護する側もされる側も利他的です。介護する側が相手がどうしたら喜ぶのか？ どうしてほしいのか？ と、自主的に考える事で介護能力が向上し、介護される側がありがとうと感謝を伝えて喜べば、介護する側もその介護の仕事に充実感と誇りに思うようになり、介護したつもりが、介護されていたという事に気が付くし、精神的にも成長して行くように成り、相互礼拝、相互供養の精神の修行に結びつくものだと感じております。

最後になりましたが、石山寺の鷲尾龍華様には公私共に大変お世話になり誠にありがとうございました。

## 渡邊慧海さん（真言宗醍醐派）

今回の講座は、自分自身を見つめ直す機会と新たな一歩を踏み出すきっかけになりました。

最初に提出した「生育歴」を始めとするレポートは、これまでの自分を振り返るものでした。実習先での傾聴を記録した「会話記録」は、自分自身の心の動きを見つめるものでした。グループワークでの「会話記録」の発表は、自分自身を深く見つめる事、知る事になる為、きつい講義でしたが、周りには常に相談できる講師陣、諸先輩方、同期の皆さんがいてくれたので、自分と向き合う事ができました。一人で抱え込まず、相談できることの有難さを実感しました。

全講座を通して多様な価値観を認める事、自分自身を深く見つめる事が、相手を正しく理解するために必要な事だと学びました。

この三カ月間、お世話になりました講師陣の皆様、諸先輩方、実習先の皆様、そして同期の皆さん、本当にありがとうございました。

### 各地臨床宗教師問合せ先

- ・ 日本臨床宗教師会  
sucj@g-mail.tohoku-university.jp（事務局）
- ・ 北海道臨床宗教師会  
h.rinsyu@gmail.com（事務局）
- ・ 東北臨床宗教師会  
ht.rinshushikai@gmail.com（事務局）
- ・ 関東臨床宗教師  
kanto.rinsyo.syukyoshi@gmail.com（事務局）
- ・ 中部臨床宗教師会  
chubu.rinsyu@gmail.com（事務局）
- ・ 関西臨床宗教師会  
info.kansai.chaplain@gmail.com（事務局）
- ・ 中国地方臨床宗教師会  
ch5rinshu@yahoo.co.jp（事務局）
- ・ 四国臨床宗教師会  
p005@me.com（代表）
- ・ 九州臨床宗教師会  
k.rinsyu@gmail.com（事務局）

### 寄付のお願い

臨床密教センターの理念及び臨床宗教師養成の趣旨に賛同してくださる方に寄付金をお願いしております。

#### 【寄付金の目的・用途】

目的：臨床密教センターの運営及び臨床宗教師養成講座等、センターの実施する講座等運営の為に必要な費用に充当することを目的としております。

用途：臨床密教センターの経常的経費及びセンターの実施する講座等の運営費に充当いたします。

#### 【寄付金の免税措置について】

臨床密教センターが設置されております学校法人綜藝種智院は、文部科学大臣から寄付金募集について特定公益増進法人の認可を受けています。ご寄付をいただきました場合、以下の基準により個人又は法人の所得から控除され、税制上の優遇措置を受けることができます。

#### 【寄付に関するお問い合わせ】

学校法人綜藝種智院 法人事務室

Tel：075-604-5600（大学代表）

〒612-8156 京都市伏見区向島西定請70番地

### 編集後記

5年ぶりの再開となった今回の講座ですが、準備は本当に大変でしたが全体会は本当に楽しい時間でした。

正直、講座終了後はしばらく寂しさを感じました。受講生とスタッフが寝食を共にする合宿形式の講座の良さを再確認しました。

相変わらず各地で災害が続いています。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、早く平穏な日々が戻ってくることを心よりお祈り申し上げます。  
(み)

発行者：種智院大学 臨床密教センター

『第4回臨床宗教師養成講座 報告』

2024年1月17日発行（第1刷）

### 種智院大学 臨床密教センター



〒612-8156

京都市伏見区向島西定請70

Tel: 075-604-5743

Fax: 075-604-5646

Email: [rinimitsu@shuchiin.ac.jp](mailto:rimitsu@shuchiin.ac.jp)

<https://www.shuchiin.ac.jp/about/rimitsu.php>